

# 学校自己評価報告書

(平成24年度)

平成25年11月

学校法人藤仁館学園

専門学校高崎福祉医療カレッジ

## 1. 学校の教育目標

本校学則第1条（目的）に「本校は、教育基本法に則り、学校教育法並びに社会福祉士及び介護福祉士法等に従って、福祉事業にたずさわる者を養成し専門的な知識及び技能を修得させることを目的とする。」としており介護・福祉分野に関する職業人を養成しております。

私たち藤仁館学園の願いは、卒業生が介護を中心とした福祉の世界で、10年・20年先まで中心的人材として活躍し続けることです。

当校に在学中の2年間の学生生活を充実させるのは勿論のこと、卒業後の仕事において、就業年数に相応しい知識・技術・見識を身に付け、それを客観的に証明する「資格」を取得し、仕事に活かすことが出来れば職業人として最高です。

そのため、当校では、設置学科を無意味に増設することに替えて、卒業後3年・5年・10年・15年と卒業生の成長に合わせたスキルアップ教育を提供し、生涯を通じて卒業生と学校が成長しあえる関係を構築することです。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### (1) 介護福祉学科に関して

養成校入学者に対する国家試験免除期間が2年間延長され、また群馬県から「民間教育訓練機関による離職者訓練」として「介護福祉士養成に係る2年課程の訓練」の委託を受け、14名の訓練生が一般の学生と共に授業を受け、途中1名が退校になりましたが、13名の訓練生が他の学生11名と共に2年次に進級いたしました。

就職に関しては、卒業生21名のうち1名を除く、20名が福祉関係へ就職が決まりました。

### (2) 介護技術講習会に関して

介護技術講習会については、4月～12月までの期間で、高崎本校で34回、太田キャンパスで17回の合計51回実施し、高崎本校で538名、太田キャンパスで255名の合計793名が修了しました。

### (3) 別科に関して

社会福祉士科一般養成課程 174名

社会福祉士科短期養成課程 79名

精神保健福祉士科一般養成課程 48名

精神保健福祉士科短期養成課程 114名

が入学し、学習を開始しております。

### (4) 養成施設の指定申請に関して

介護福祉士実務者養成施設に関しては、計画書、申請書を関東信越厚生局指導養成課福祉係へ提出し、平成25年2月に指定を受けました。

社会福祉士科短期養成課程の定員増に関しては、平成24年9月に関東信越厚生局指導養成課福祉係に提出し、平成25年3月に定員増の指定を受けました。

### (5) 実習指導者講習会に関して

「介護福祉士実習指導者講習会」「社会福祉士実習指導者講習会」を複数日程で実施

### (6) 実務者研修教員講習会に関して

平成24年度は、11月から3月までの期間に全11回実施しました。

### (7) 社会福祉士養成施設（一般養成課程）の定員増員の計画書に関して

平成 25 年 3 月に社会福祉士養成施設（一般養成課程）の定員増員の計画書を関東信越厚生局指導養成課福祉係に提出しました。

(8) 職業訓練の実施状況は下記の通りです。

【委託訓練】

訓練コース名	取得資格	実施期間	開講時 訓練人数
介護福祉士育成科	介護福祉士	平成 23 年 4 月 12 日～ 平成 25 年 3 月 5 日	5 人
介護福祉士育成科	介護福祉士 社会福祉主事	平成 24 年 4 月 17 日～ 平成 26 年 3 月 11 日	14 人

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

#### (1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4    ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2    不適切・・・1			
	・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2
・学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

①課題

学生や保護者との情報の共有

②今後の改善方策

学生や保護者との情報共有手段の構築

③特記事項

## (2) 学校運営

評価項目	適切・・・4    ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2    不適切・・・1			
	・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	4	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

### ①課題

- ① 事業計画に関して、中・長期事業計画の精度を高める。
- ② 情報公開の一層の改善
- ③ 情報システム化等による業務の効率化と共に教職員の能力向上に向けた研修

### ②今後の改善方策

- ① 中・長期的視野に立って時代のニーズに合わせた方針の修正
- ② ホームページの一層の充実

### ③特記事項

- ① 平成 26 年度に向けてホームページの再構築
- ② 平成 26 年度入学者の卒業時から、介護福祉士の国家試験の受験が義務づけられる為これにともなる国家試験対策の実施

### (3) 教育活動

評価項目	適切・・・4    ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2    不適切・・・1			
	・教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか	4	3	2
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・成績評価、単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

#### ①課題

- ① 関連分野の企業、関係施設等との連携によるカリキュラムの作成・見直しが不十分となっている。
- ② 外部関係者からの評価の受入れ体制が不十分となっている。

#### ②今後の改善方策

- ① 教育課程編成委員会による意見をカリキュラムの作成時に導入していく。
- ② 実習巡回時に指摘された内容についてすみやかに授業運営に反映させる。

#### ③特記事項

平成26年度のカリキュラムについては、教育課程編成委員会の意見を反映させ、学校側が主体的にカリキュラムを作成する体制を構築している。